

(^_^) 『明日からの学級が変わる！HOWTO学級作り・特別活動』 (^_^)
 (^_^) 山口学級活動ネットワーク メールマガジン (^_^)
 (^_^) 平成19年01月16日発行 第23号 (^_^)
 ∞メニュー∞∞∞

- 1 卒業に向けて その1
- 2 学級通信を考える～その8 ヒントを与える
- 3 中国学級活動ネットワークin米子 報告 その1
- 4 メルマガ編集部からのお知らせ

∞∞∞

みなさん、明けましておめでとうございます。
 2007年もよろしく申し上げます。

 1 卒業に向けて～よりよい学級を目指した卒業実行委員会の活動 その1
 山口市立平川小学校 梶田崇晴

いよいよ3学期が始まりました。6年生を担任されている先生方は、卒業式を控えていろいろな思いを巡らされているのではないのでしょうか。

さて、卒業式が3月20日の場合、1月9日の始業式は「卒業式前50日」ということになります。つまり、「あと50日学校に来たら卒業」という日なのです。メルマガ14号でお知らせした「100日前記念日」から50日が過ぎたことになります。

そこで今回は、卒業に向けての実行委員会についてお知らせしようと思います。

私は「卒業」というものを小学校生活最大の行事だとしてとらえています。卒業式というはもちろん行事ですが、その日だけに限らず、卒業に向けての活動の中で子どもたちは大きく成長していきます。中には、中学校生活という見知らぬ世界に不安を抱え、不安定になる子もいますが、様々なことに意欲的に取り組んでいく中で、そういう気持ちも払拭させることも可能だと考えています。

私は、これまで6年生を8回担任しました。それぞれの学級で、これまでに取り組んできた実行委員会とその活動を紹介したいと思います。

【謝恩会実行委員会】

前任校では、全先生方を招待して謝恩会というものが行われていました。この実行委員会は、その謝恩会の企画運営をする組織でした。この実行委員会では、大きく二つの活動を企画しました。一つは、先生方に食べてもらう料理をつくる活動。もう一つは班ごとに出し物をして謝恩会を盛り上げる活動でした。

【花を育てる実行委員会】

「卒業式に自分たちで育てた花を飾りたい」という思いから生まれた実行委員会でした。この組織は12月にでき、それから苗を買ってきて子どもたちだけで育てました。水やり当番を決め、毎日、大切に育てていきました。

【卒業大パーティ実行委員会】【卒業記念お別れ会実行委員会】

卒業式を前に、最後のお別れ会をしようという実行委員会でした。自分たちだけで出し物を見せ合って行ったこともありましたが、保護者を招待して自分たちがどれだけ成長したかを見てもらうことを行ったこともありました。内容として紹介したいものは、「学級の歌発表会」「自慢大会」「思い出スピーチ発表会」「スポーツ大会」「オンリーワン表彰式」などがありました。

【タイムカプセル実行委員会】

卒業記念といえばタイムカプセル、というくらいオーソドックスな取組みです。卒業時期になると、いつの6年生も「タイムカプセルを埋めたい」という思いを持つようです。学校の事情等があり、学校の敷地内に埋めることができる場合とそうでない場合があります。埋めることができない場合には、私が自宅に預かっておくことにしました。子どもたちからすれば二十歳になったときに開けることができる、という夢が詰め込まれたものなのですね。

【卒業文集実行委員会】

これもかなり一般化した取組みです。どんな内容にするかをアンケートなどをもとに考えていきました。内容としては「マイページ・自分のページ」「今〇〇について思うこと」「もう一度やりたい、もう二度とやりたくないこと」「未来のぼく・私」「小学校一番の思い出」「みんなからの一言」「文とイラストで綴る一年間」「何でもベスト10」「先生方やお家の方からの一言」などがありました。

【卒業アルバム実行委員会】

卒業アルバムは、児童数の関係によって業者に依頼する場合とそうでない場合があります。自分たちでつくる場合には、これまでに撮り貯めた写真をアルバムに貼っていくわけですが、そのタイトルを作ったり、みんなにコメントを書いたりという活動を行いました。

【歌づくり実行委員会】

「卒業時に、自分たちの学級の歌を作りたい」という思いから生まれた実行委員会でした。これまでの思い出を歌にするということで、どういった歌詞を入れたらいいのかをアンケートをもとに考えました。曲作りについては、メロディコンテストなどを行って選んだこともありました。

【クラスマッチ実行委員会】

現任校では、卒業前にクラスマッチを行うというのが恒例になっています。そこで、そのお世話をするメンバーとしてこの実行委員会が生まれました。開会式・閉会式のお世話をしたり、クラスマッチ用の賞状を作ったり、審判をしたりという活動を行いました。ちなみに、本校で行っているクラスマッチは、ドッジボール、サッカー、バスケットボール、長縄です。

【ボランティア実行委員会】

「小学校最後に何か在校生のためになることをしたい」という思いから生まれた実行委員会です。ある年は、「一日一回は人のためになることをしよう」という提案をしました。またある年は、「みんなのために何ができるか」を一人ひとりが考え、それを掲示板に貼り、声がかかった活動をみんなでやるということも行いました。

卒業実行委員会、もっとあります。つづきは次号でお知らせします。

2 学級通信を考える～その8：学習のヒントを与える

山口市立平川小学校 梶田崇晴

宿題に自由学習というものを取り上げていたときのこと、懇談会で「自由学習で何をさせたらいいかわからない」という声を聞きました。自由学習は、やりたいことを自分で探すのが原則なのですが、わからないと言っているのを放っておくわけにはいきません。そこで、学級通信でヒントを与えることにしました。これは学習だけに限らず、日記なんかも同様です。面白いものがあったらジャンジャン紹介しましょう。

子どものユーモアを鍛える場合も、この方法が一番です。ユーモアあふれる文章を見つけたら、できるだけ早く紹介しちゃうのです。何かを身につけさせようと思ったら、真似をさせることがいちばん手っ取りばやいと思うのです。そういうところに学級通信が生かせたら最高ですね。

以前、複式学級を受け持った時、学習のパターンを与えることの大切さを学びました。これは、子どもたちにひとり学びの力を育てるのに必要なことです。ということは、複式に限らないということだと思いました。そこで、その学習パターンを学級通信で親に知らせることにしました。このパターンを子どもや親に理解させておくことは、自主学習にもつなぐことができるからです。

3 中国学級活動ネットワークin米子 報告 その1

1月6日・7日に鳥取県米子市で中国学級活動ネットワークが行われました。

全体の流れとその感想を、仙台の八巻先生がブログ（やまかん日記）にまとめています。ぜひ、ご覧ください。

<http://edublog.jp/ktsn1213/archive/527>

<http://edublog.jp/ktsn1213/archive/528>

さて、中国学級活動ネットワーク in 米子での様子を、今回から連載でお知らせしていくことにします。

まず、相田が行いました基調提案についてです。

ここでのテーマは「学級活動まると学級経営」というものでした。その原稿をつくるに当たって、今回のテーマ「学級活動まると学級経営」の意味を考えました。このテーマは、以前、杉田調査官が使われた言葉でもあるということで、どんな意味があるのだろうかということを自分なりに解釈することから始めました。

それでは、提案の内容をかいつまんでお知らせすることにします。

(1) 学級活動まると学級経営とは

ここでは、学級活動の取組みを行うことが、そのまま学級経営の基礎になるということをお話ししました。

(2) 学級づくりにこだわるわけ

「教師は授業で勝負しなければならない」という言葉があります。まさにその通りです。しかし、「よい授業の前によりよい学級が必要であること」「教師は人間性の研修をする必要があること」ということを、早稲田大の安彦先生とお茶の水女子大の森先生の言葉を引用して話しました。また、子どもたちが学校にいる間、どのくらいの割合で授業に参加しているかということのを6年生を例に計算してみたものを説明しました。その結果、子どもたちが学校にいる間、授業に参加する時間は約50%ということがわかったのです。そのことから、授業以外の時間も大切にしていかなければいけないことを実感しました。

(3) 目指す子ども像と学級活動

担任はまず学級経営案を書きます。その書き方を私自身の実践をもとに説明しました。そして、目指す子ども像を支えるものが、学級活動の実践を行うことでクリアできることを話しました。

(4) 学級活動の取組み

ここでは、学級活動の内容としてあげられている(1)と(2)をていねいに取り上げていくことが多くの力を身につけていくことにつながり、それが同時に各教科等の学習を支える力になることを述べさせてもらいました。

(5) 学級活動ネットワークの取組み

それらの取組みをめざして学級活動ネットワークでは1993年から行われていること、その活動が今も続けられていること、また「希望の会」という特活の充実を目指した活動が新たに始まったことを紹介しました。

主催者の太田先生のところへ届いた感想が、希望の会のメーリングリストで紹介されていまして、それも掲載しておきます。

『特別活動を少しだけかじり、興味を持つようになってきたこのごろだったのですが、二日間の研修でもっとよく知りたいといった気持ちがわいてきました。』

『やっぱり一番よかったのは、杉田先生のお話。文科省にも話の通じる人がおられることに安心しました。私もいい学級でなければ、いい授業はできないと思うし、この仕事は、理屈ではできない、つまりセンスが大事と改めて思いました。久しぶりに身になった研修会でした。ありがとうございました。』

『この時期は、休みが終わる憂鬱な気分を味わうのですが、今回は、そういう気分ではなく、始業式が楽しみです。特活は、子どもたちだけでなく、教員も元気になるんですね。今回の会のおかげで、旧交を温めたり、また新しい出会いがあっ

たり、本当に実りあるものとなりました。』

4 メルマガ編集部からのお知らせ

◆次号の予告◆◇◆

第24号は1月下旬ごろ発行予定です。

次号では、「卒業にむけての取組み その2」について紹介する予定です。

原稿の投稿がありましたら、そちらを優先することがあります。

◆山口学級活動ネットワーク メールマガジンの登録について◆◇◆

現在の購読者は125名です。もっともっとメルマガ仲間を増えたらいいなと思っています。お知り合いの方にこのメルマガを紹介してもらえませんか。

登録については、山口学級活動ネットワークのホームページをご参照ください。

url: <http://www.yamakoshu.org/gakkatu-net/>

◆山口学級活動ネットワーク ホームページについて◆◇◆

過去のメールマガジンをホームページ上で見ることができます。

これまでは、号数からしか検索できていませんでしたが、このたび、内容から検索できるようにして欲しいという要望がありましたので、ホームページ担当の吉田先生が作り替えてくれました。

url: <http://www.yamakoshu.org/gakkatu-net/>

◆リンク等のお知らせ◆◇◆

学級活動のよさを広げようと活動している仲間へのリンクです。

やまかん日記 <http://edublog.jp/ktsn1213/>

学級づくりを進める会 <http://www7a.biglobe.ne.jp/~gakkyuu/>

Atsuhiko's Room <http://homepage2.nifty.com/yama-1/>

希望の会事務局 今村信哉: drumsuko@mub.biglobe.ne.jp へ連絡

◆キャリア教育と特別活動◆◇◆

仙台の八巻さんが「キャリア教育と特別活動」についてブログに書かれています。

やまかん日記 http://edublog.jp/ktsn1213

キャリア教育は、これから特別活動の中でも注目されるものです。ぜひ読んでみてください。

=====

山口学級活動ネットワーク メールマガジン

☆ご感想・ご意見はsugi-net@c-able.ne.jpまで

☆編集・発行 山口学級活動ネットワーク メールマガジン編集部

梶田崇晴 (山口市立平川小)

津村元文 (防府市立西浦小)

能勢雅子 (山陽小野田市立高千帆小)

吉田哲朗 (山口大学附属山口小)

=====